

最終更新日 H24.10.24
改修技術 No. 14102401

性能分野	防災性
大分類	震災後の生活性能維持
中分類	継続利用可能性
技術の名称	玄関扉の開閉障害防止
改修技術の概要	<ul style="list-style-type: none"> 震災時の躯体等の影響により各住戸の玄関扉が変形し開放できなくなることを防止するために、玄関扉を耐震ドアにする。 耐震ドアには“非常脱出扉付ドア”、“耐震蝶番ドア”、“かぶせ工法耐震ドア”がある。 非常脱出扉付ドアは、扉内部に単独で開放できる子扉が付いているもの(図1)、かぶせ工法耐震ドアは変位を扉と枠の隙間で相互干渉を低減するもの(図2)、耐震蝶番ドアは蝶番にスプリングが付いており地震の揺れ吸収するもの(図3)がある。 現地での工事は各住戸1日程度。
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>非常脱出扉</p> <p>図1 非常脱出扉付ドア</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>扉と枠の干渉を低減</p> <p>図2 かぶせ工法耐震ドア</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>スプリングが地震の揺れを吸収</p> <p>図3 耐震蝶番付ドア</p> </div>

